

「みらい塾」学びの足跡



第1回 11月26日(日)

開講式

厳かな雰囲気の中、開講式を挙行了しました。塾生の緊張した表情から、教職への熱い思いが伝わりました。



☆初年度塾生 164名

- ・学生 104名
- ・講師 60名

☆塾生所属大学

- ・福岡教育大学
- ・九州女子大学
- ・梅光学院大学
- ・西南女学院大学
- ・北九州市立大学
- ・中村学園大学
- ・下関市立大学
- ・長崎大学
- ・九州共立大学
- ・福岡県立大学
- ・広島大学
- ・鹿児島大学
- ・宮崎大学
- ・佐賀大学
- 他多数

教育長講話「あなたの情熱をこのまちの子どもたちに」



北九州市の魅力や、教育活動の特徴（学力・体力向上への取組や外国語教育）、教育施策などについて、スライドや動画を交えながらお話しいただきました。

【振り返りシートより】

北九州市が求めている教師像や取組を知ることができました。想像以上に充実していました。特に「ひとりぼっちにはさせない」という言葉を聞いてとても安心しました。北九州市を選んでよかったと感じました。

グループディスカッション「北九州市で先生になろう」



北九州市教育委員会事務局の方々と一緒に、将来「どんな学級（保健室）をつくりたいか」「子どもたちが毎日喜んで通いたくなる学校とは」という二つの話題について語り合いました。

【振り返りシートより】

教育委員会というと、どこか遠い存在に感じていましたが、私たち教師を目指す者に対して親身になって考えてくださっていることが伝わり、グッと親近感を抱きました。独りでは教師は務まらないのだと学びました。

懇談「教師の一日を知ろう」



1～4年次の先輩教師の皆さんに、学校の様子や仕事のやりがい、採用試験の経験談など、今不安に思っていることを何でも質問し、答えていただきました。

【振り返りシートより】

現職の先生から、ものすごい教育への情熱を感じた。小さな不安や疑問にもじっくり耳を傾けてくださって、温かいなと少しホッとしました。大学では教えられない、教員の仕事内容ややりがい、チームでの対応の様子などを知ることができて、現場は大変そうだけど、早く教員になりたいと思いました。

第2回 12月3日（日）

「子どもつながりプログラム」体験



塾生自身の対人スキルの向上と、教師として授業を行うときの指導のポイントについて学びました。自分と相手の気持ちを知ること、協力することをめあてに、「ザ・タワー」と「無人島SOS」の体験を行いました。

【振り返りシートより】

グループの人の意見に傾聴することや認め合うことが大切だと思いました。授業をするときに、どのようなことに気を付ければよいのかという教師の視点と、プログラムを楽しむ子どもの視点の両方をもつように心がけました。明確な指示がないと子どもは混乱してしまうし、活動がスムーズに進まないことがよく分かりました。楽しい活動をするときほどルールをしっかりつくり、それを分かりやすく伝えることが大切と思いました。

意見交流「求められる教師像」



kitaQ せんせいチャンネルに掲載している「教師のしおりWEB」を使って、「求められる教師像」について意見交流を行いました。日常の学校生活でよくある場面について、何が、なぜいけないのか、じっくり考えました。

【振り返りシートより】

アニメーションで取り上げられていた事例は、学校現場に出てみないと考える機会がないことが多かったと思います。日頃から、事前に起こりそうな場面を想定して考え、対処法の引き出しを増やしておくことが大切だと思いました。

ロールプレイング「電話対応」「子ども同士のトラブル対応」



「電話対応」「子ども同士のトラブル対応」について、実際の場面を想定し、対応をロールプレイングでやってみました。講師の先生方が経験を生かして、様々な背景を想像したり、相手の気持ちや行動を想定したりして、リーダーシップを発揮していました。

【振り返りシートより】

大学では保護者対応について学ぶ機会がなかったため、今回は貴重な学びでした。様々な意見を聞くことができ、多様な視点で考える大切さに気付きました。保護者に対しても子どもに対しても「教師として」という態度が常に必要であること、報告・連絡・相談をいつもすることが大切ということが分かりました。

第3回 1月14日（日）

於：ひびきの小学校

ウォークラリー・協議「求められる学校・学級づくり」



ひびきの小学校をお借りしました。校長先生の学校紹介の講話の後、グループをつかって校内をウォークラリーし、子どものためのよい取組「グッドプラクティス」を見付けたり、それについて話し合ったりしました。

【振り返りシートより】

将来、この学校で働きたいと心から思える職場でした。自分が担任になったらこんな工夫をしたいという点をたくさん見つけることができました。綺麗に物が整理されているクラス、どの子も丁寧に文字を書いているクラスなど、それぞれのクラスの良さに気付きました。

模範授業・模擬授業



マイスター教員、学力向上推進員、指導主事の先生方が「授業づくり5つのポイント」を踏まえた模範授業をしてくださいました。その後、先生方の真似をして、模擬授業に取り組みました。

【振り返りシートより】

先生方の授業を拝見して、まだまだ勉強不足だと痛感しました。グループ内で模擬授業をすることで、改めて授業は難しいものだ気付かされました。理解の遅い生徒への対応、配慮などをより具体的に考えることができました。子どもたちがキラキラ輝く授業を目指して、これからも頑張りたいです。

演習「授業づくりのポイントについて」



学力・体力向上推進室の指導主事も加わり、授業づくりのポイントについて学びました。ねらいからまとめやめあてを考える授業構想を体験し、実際に算数科の授業づくりを行いました。

【振り返りシートより】

班活動するときのルールやめあての立て方、まとめ方のコツを学びました。授業づくり動画の算数の授業は、工夫がたくさんあって、実際に教員になったら、絶対に kitaQ せんせいチャンネルで学びたいです。

先生体験



実際の教室を使って、板書、範読（道徳の資料）、デジタル教科書の体験をしました。チョークの持ち方、定規の使い方など、コツを伝授してもらいながら、じっくり体験しました。

【振り返りシートより】

範読のスピードや板書のくせ字など、普段自分自身では気付かないことも、班のメンバーから指摘されることで気付くことができました。実際に学校現場に行って、子どもがいる空間を想定して体験できたので、実際に先生になれるように頑張ろうと、意欲が高まりました。

「道徳の時間」授業づくり①



範読の体験を行った資料を使って、授業づくりも体験しました。中心発問で子どもの意見を引き出し、生活を振り返る場面について、どのような発問をするか、子どもの発言をどう取り上げるか等、道徳的価値の自覚を深める授業づくりについて考えました。

【振り返りシートより】

道徳的価値を考えながら学習を進めていくうちに、意図しない方向に児童の意見が向かった時の修正の仕方に苦しみました。班内で話し合っていく中で、主価値に立ち返って考えることが大切だと気付きました。

演習「健康診断」（養護教諭）



3つのグループに分かれ、身体測定、内科検診、歯科検診の行い方、事前事後の指導について考え、ロールプレイングを行いました。

【振り返りシートより】

グループの助教諭の先生方の実演から、自分自身が分かっているようで分かっていなかったことに気付かされました。準備や学校医との連携が大切だと思いました。

「道徳の時間」授業づくり②



前回グループ内でロールプレイングしたことをもとに、模擬授業を行いました。一人行うごとに課題を出し合い、発問の仕方を練り合いました。

【振り返りシートより】

予期しない発言が子どもからたくさん出たときの対応の仕方など、実際に講師として授業をしている先輩方からたくさんアドバイスをいただきました。実際に教師役として皆の前に立つと、予定通りにいかないことが多く、授業の難しさと授業準備の大切さに気付くことができました。

学級開きのイメージをつくろう



昨年度開催した自主講座の動画をヒントに、模擬学級開きを行いました。自分の名前であいうえお作文をつくり、自己紹介をしてみました。

【振り返りシートより】

学級開きという言葉は知っていましたが、実際にどうするのか想像もつかなかったので、動画を見たり、実際にやってみたりすることができて良かったです。4月の学級開きで挑戦してみようと思います。

子どもとの接し方



教師のしおりWEBに付属しているカードから「元気にあいさつする子どもをほめる」「机にうつぶせて参加しない子どもへの対応」についてグループでロールプレイングし、考えました。

【振り返りシートより】

二つの場面の指導を行って見て、児童の実態をしっかりと把握し、個に応じた指導をしなければならないと改めて思いました。突然何かが起きても、その時にできる最善の対応ができるように、日頃から考えておこうと思います。

特別支援教育について学ぼう（特別支援学校希望者）



特別支援学校を希望している塾生を対象に、北九州市の特別支援教育や特別支援学校の一日について動画等で学んだ後、生活単元学習の模擬授業を行いました。

【振り返りシートより】

大学では障害の概要や教育課程について学ぶことが多く、今日のように実際の授業や子どもへの対応の仕方について学ぶ機会があまりなかったので、勉強になりました。私は北九州市出身ではないので、北九州市の特別支援教育についても、多くのことを学ぶことができました。

私の保健だより・アレルギー対応（養護教諭）



先輩の作成した保健だよりを見ながら、健康診断の事前事後指導の内容の保健だよりを作成しました。みんなの保健だよりを見合い、よいところやアドバイスを伝え合いました。午後からは、北九州市のアレルギー対応について学び、実際に緊急対応の仕方、エピペンの使い方などをロールプレイングで学びました。

【振り返りシートより】

先輩の養護教諭の保健だよりを沢山見せていただき、とても勉強になりました。資料を載せたり、保健指導の様子を載せたりして、伝えたいことが伝わり、かつ印象に残る保健だよりを作っていけるように頑張りたいと思います。アレルギー対応や緊急時の対応は、大学でも学んでいましたが、ロールプレイングをしてみると、見直すべきところや抜けていたところが分かりました。子どもの命を守るために、全力を尽くしたいと思いました。

第6回 3月11日（日）

講話「北九州市で先生になろう～先生の仕事、魅力とやりがい～」



元小学校校長の大庭正美先生より、これまでの数々の実践を通して、子どもたちとの縁、教師という仕事の魅力をお話しいただきました。304室は、感動の笑顔と涙、そして強い決意に包まれました。曲のプレゼントもいただきました。



閉講式・給食試食会



垣迫教育長より、修了認定書、皆勤賞を授与していただきました。「一人ぼっちにはさせない」温かいお言葉に勇気づけられました。

閉講式の後には、給食試食会。栄養教諭「1cmの会」の皆さんが、北九州市の誇るおいしい給食を作ってくださいました。楽しい会食で絆が深まりました。